

今野 進：第13回国際ナノプランクトン学会 (INA13) を終えて

国際ナノプランクトン学会 (INA) とは、1977年に主に石灰質微化石および現生円石藻の研究者が集まって設立した学会です。現在は現生石灰質質渦鞭毛藻やバルマ藻など研究範囲を広げています。

2010年9月5日(日)～10日(金)にかけて、山形市の山形テルサにおいて、第13回目の国際ナノプランクトン学会会議 (13th International Nannoplankton Association Conference: INA13) を開催しました。この会議には、地元山形からの参加者に加え、国外では24の国と地域から60名、日本国内からは22名が参加されました。会議は、日本国内のINA会員および山形大学の諸先生方の協力のもとINA13実行委員が主催し、概ね順調に、また好評のうちに終了することができました。

大会初日の9月5日(日)は、昼から受付を行い、夕方からは親睦会を開催することで遠く海外からの参加者を迎え、和やかに始まりました。

6日(月)の開会式では、結城章夫山形大学学長と櫻井敬久山形大学理学部長によるご挨拶をいただきました。その後、大会実行委員長であるRichard W. Jordan准教授の開会の言葉を皮切りに、口頭発表セッション1(Aspects of Nannoplankton Biology)をスタートしました。10日(金)の午前中までに、11の口頭発表セッション(46題)、2回のポスター発表セッション(47題)、3回のワークショップに加え、オランダ・ライデン大学のPeter Westbroek教授と国立環境研究所の河地正伸博士の招待講演を行いました。本会議中は、ナノプランクトンに関する生態学、分類学、古海洋環境学など、様々な研究分野からの成果発表が行われ、講演後や休憩時には多彩で活発な討論が繰り広げられていました。私は、実行委員として動いていたため、口頭発表はできませんでしたが、「バルマ藻について」ポスター発表を行いました。

7日(火)には、女性研究者の裾野拡大を目的とした女子学生対象のミニシンポジウムを開催しました。このシンポジウムには、研究職を志す山形市内の高校生および大学生など30名ほどが参加し、海洋研究開発機構(JAMSTEC)の原田尚美博士と岡山大学の萩野恭子博士から、研究を行う楽しさや苦労について女性の立場からのご講演をいただき、さらに、Jordan研究室の学生が制作したナノプランクトンに関するポスター展示を行いました。参加した女子学生にとって、英語に触れるだけでなく、研究の世界やナノプランクトン研究を知る良い機会になったのではないかと期待しています。実際に参加者の質問はとて多く、予定していた時間



エクスカージョン集合写真

を大幅に超える盛況ぶりでした。

8日(水)には山形の自然や文化に親しんでもらうため、2つのコース(お釜と蔵王温泉源泉見学、および山寺見学)に分かれてのMid-excursionを開催しました。このエクスカージョン終了後には、山形大学小白川キャンパスの中庭で山形名物の芋煮、地酒、地物ワインなどを振る舞いました。

9日(木)の本会議後に開催された懇親会では、INA学会長および大会実行委員長より学生優秀賞の授与が行われました。口頭発表の最優秀賞には、アメリカ・フロリダ州立大学のBlair Stacieさん、優秀賞にはイタリア・バルマ大学Pea Lauraさんと九州大学の別所和博さん、そして、ポスター発表の優秀賞には、フィリピン大学のDeborah Tangunanさんと千葉大学の勝山美奈子さんが選ばれ、賞および副賞が授与されました。

最終日10日(金)の本会議は午前中で終了し、午後からは、日本の自然や文化をさらに知っていただくとう1泊2日のエクスカージョンを開催しました。参加者33名のほとんどが海外の方で、山形市内の男山酒造で酒蔵見学と試飲をした後、宮城県に移動して日本三景の松島を見学し、仙台に宿泊しました。翌日には塩釜神社を参拝し、フェリーで塩釜港から松島湾を観光した後、仙台駅で解散しました。

以上、本会議とExcursionを含め7日間の長丁場でありました。これらを、山形大学理学部のINA会員3人(Jordan准教授、Denise K. Kulhanek研究員、今野進研究員(私))と岩滝光儀准教授を中心に、1年半以上にわたり準備を進めてきました。その間には、原慶明名誉教授、横山潤教授、栗山恭直教授、JAMSTECの原田博士、千葉大学の亀尾浩司准教授、産総研の田中裕一郎博士、岡山大学の萩野博士、Jordan研究室および岩滝研究室の大学院生と学部生など、様々な方からのご協力をいただき、また、山形コンベンションビューローの渡邊洋さんには運営についてご助言いただきました。最後に、遠路はるばるご参加いただきました皆様、大会運営に携わりました関係者の皆様に、深く感謝申し上げます。次回INA14は2012年にルーマニアにて行われます。ご興味を持って頂いた皆様には、是非参加をお願いします。

(山形大学 SCITA センター)



集合写真